



## 青森県感染症発生情報 (2024年第44週)

### I 第44週の発生動向 (2024/10/28~2024/11/3)

- 手足口病については、むつ保健所管内の定点当たり報告数が新たに**警報レベル**となりました。また、三戸地方+八戸市保健所管内及び上十三保健所管内で**警報**が継続しています。
- 伝染性紅斑については、東地方+青森市保健所管内の定点当たり報告数が**警報レベル**となりました。
- マイコプラズマ肺炎については、むつ保健所管内の報告数が多くなっています。マイコプラズマ肺炎の主な感染経路は飛沫感染であることから、マスクの着用や換気などの感染予防対策を行い、併せて流水と石けんによる手洗いなど手指衛生も行うようお願いいたします。

### II 第44週五類定点把握対象疾患

※記載データは、速報値です。

青森県内の保健所管内、定点(医療機関)数、警報・注意報については青森県の感染症発生状況 TOP ページをご覧ください。

は警報、は注意報。「空欄」：患者報告無し。

		東青 (東地方+ 青森市保健所)		中南 (弘前保健所)		三八 (三戸地方+ 八戸市保健所)		西北 (五所川原 保健所)		上北 (上十三保健所)		下北 (むつ保健所)		青森県計		前週 からの 増減 数
		数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	
小児科 内科	インフルエンザ			2	0.17	3	0.25	1	0.14	4	0.44	2	0.33	12	0.21	-3
	新型コロナウイルス感染症	31	2.58	9	0.75	29	2.42	15	2.14	31	3.44	45	7.50	160	2.76	34
小児科	RSウイルス感染症			1	0.13	3	0.43	1	0.20			3	0.75	8	0.22	6
	咽頭結膜熱	4	0.57	5	0.63	3	0.43					1	0.25	13	0.35	10
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	3	0.43	11	1.38	9	1.29	4	0.80	9	1.50	2	0.50	38	1.03	1
	感染性胃腸炎	3	0.43	4	0.50	26	3.71	12	2.40					45	1.22	-14
	水痘	3	0.43											3	0.08	1
	手足口病	18	2.57	26	3.25	92	13.14	1	0.20	40	6.67	24	6.00	201	5.43	-11
	伝染性紅斑	18	2.57	5	0.63	11	1.57			3	0.50			37	1.00	14
	突発性発しん	3	0.43			5	0.71	1	0.20					9	0.24	-5
	ヘルパンギーナ									1	0.17	1	0.25	2	0.05	-2
眼科	流行性耳下腺炎					1	0.14							1	0.03	1
	急性出血性結膜炎			1	0.33									1	0.10	1
	流行性角結膜炎			2	0.67									2	0.20	2
基幹	感染性胃腸炎(ロタウイルス)															0
	クラミジア肺炎															0
	細菌性髄膜炎															0
	マイコプラズマ肺炎			2	2.00	2	2.00	1	1.00			29	29.00	34	5.67	4
	無菌性髄膜炎															0

## 感染症の窓

侵襲性感染症は、血液や髄液等の無菌部位から起病菌が分離された感染症のことを指し、一般的に重症例が多いといわれています。感染症法上の五類感染症のうち、侵襲性感染症に該当するものとしては、劇症型溶血性レンサ球菌感染症、侵襲性インフルエンザ菌感染症、侵襲性髄膜炎菌感染症及び侵襲性肺炎球菌感染症の4疾患が挙げられます。

青森県内における侵襲性感染症の10万人当たり報告数の推移は図のとおりです。青森県内では、侵襲性髄膜炎菌感染症の発生は確認されていませんが、その他の3疾患について、毎年一定数の報告があります。コロナ禍においては、一時的に減少したものの、全体としては増加傾向であり、特に近年では、侵襲性肺炎球菌感染症及び劇症型溶血性レンサ球菌感染症の寄与が大きくなっています。また、2024年のデータは第42週までの速報値をもとに算出したものですが、侵襲性肺炎球菌感染症及び劇症型溶血性レンサ球菌感染症については、既に過去10年間の最大値を超えている状況であり、今後さらに増加する可能性も考えられます。

侵襲性感染症は進行が早く、死に至るケースもありますので、早期に発見し治療を開始することが重要です。

### 侵襲性感染症の発生動向

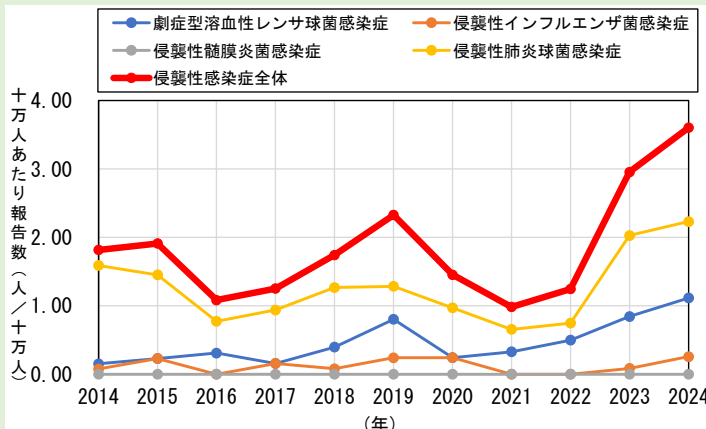


図 青森県内における侵襲性感染症の10万人あたり報告数の推移 (2024年については第42週までに速報値を基に算出した。)

**Ⅲ 全数把握対象疾患**

- ・結核(二類感染症)：青森市2人、弘前1人、むつ1人 (2024年計：107人)
- ・つづが虫病(四類感染症)：上十三1人 (2024年計：10人)
- ・劇症型溶血性レンサ球菌感染症(五類感染症)：弘前1人 (2024年計：14人)
- ・侵襲性肺炎球菌感染症(五類感染症)：八戸市1人 (2024年計：28人)
- ・百日咳(五類感染症)：上十三1人、むつ2人 (2024年計：34人)

**Ⅳ 病原体検出情報** ※ ( ) 内は、検査材料及び検体採取日

麻しん疑い患者(血液、10/18) …HHV7：弘前1人

**Ⅴ 保健所管内別全数把握対象疾患発生状況** (2024年第41週～2024年第44週)

週	東青 (東地方保健所+ 青森市保健所)	中南 (弘前保健所)	三八 (三戸地方保健所+ 八戸市保健所)	西北 (五所川原保健所)	上北 (上十三保健所)	下北 (むつ保健所)
41	E型肝炎1人 カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症3人 侵襲性肺炎球菌感染症1人				後天性免疫不全症候群1人	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症1人 百日咳1人
42	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症1人		腸管出血性大腸菌感染症1人 レジオネラ症1人			百日咳1人
43			腸管出血性大腸菌感染症1人 侵襲性肺炎球菌感染症1人		レジオネラ症1人	百日咳4人
44		劇症型溶血性レンサ球菌感染症1人	侵襲性肺炎球菌感染症1人		つづが虫病1人 百日咳1人	百日咳2人

第43週にむつ保健所管内で百日咳の届出が2件ありましたので、追加しました。

**Ⅵ 結核(二類感染症)** (2024年第41週～2024年第44週)

(人)

週	東青 (東地方保健所+ 青森市保健所)	中南 (弘前保健所)	三八 (三戸地方保健所+ 八戸市保健所)	西北 (五所川原保健所)	上北 (上十三保健所)	下北 (むつ保健所)
41	1	2	10			
42				1		
43			4			
44	2	1				1

Ⅶ 全数把握対象疾患発生状況（全国-青森県）（注：発生状況は速報値であり、国内で届出のあった疾患のみを掲載しています）

全国（2024年第1週～第43週までの累計）

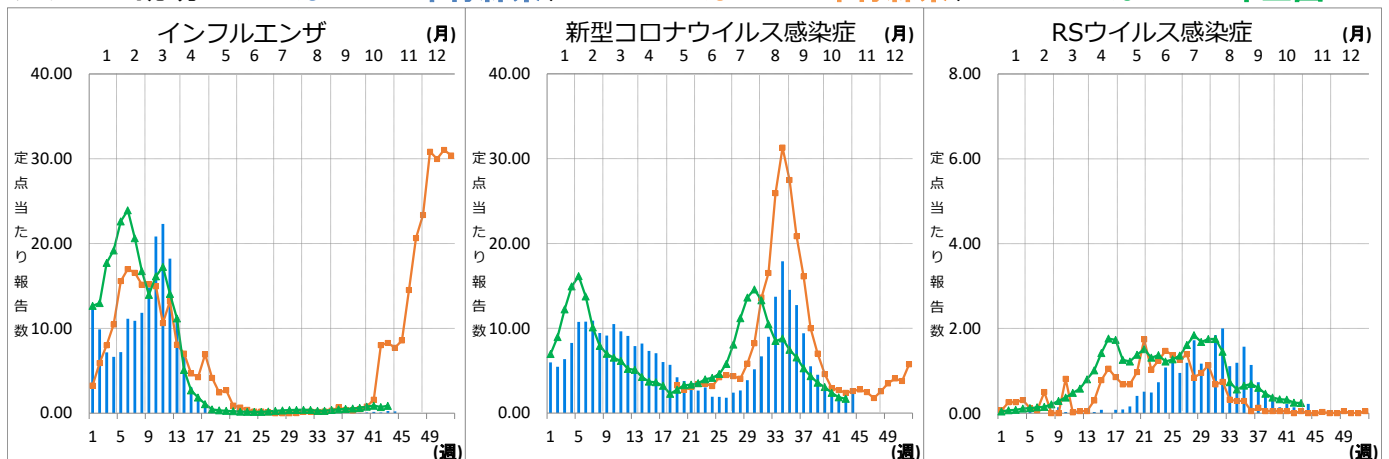
分類	二類	三類	三類	三類	三類	三類	四類	四類	四類	四類
疾病名	結核	コレラ	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	腸チフス	パラチフス	E型肝炎	A型肝炎	エキノкокス症	エムポックス
累積報告数	12672	2	68	3199	35	6	433	123	12	18
分類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類
疾病名	オウム病	回帰熱	Q熱	コクシジオイデス症	ジカウイルス感染症	重症熱性血小板減少症候群	ダニ媒介脳炎	チクングニア熱	つつが虫病	デング熱
累積報告数	3	10	6	2	4	106	2	5	120	197
分類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	五類
疾病名	日本紅斑熱	日本脳炎	ブルセラ症	ポツリヌス症	マラリア	ライム病	類鼻疽	レジオネラ症	レプトスピラ症	アメーバ赤痢
累積報告数	431	6	4	4	43	25	2	1961	44	429
分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	ウイルス性肝炎	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	急性弛緩性麻痺	急性脳炎	クリプトスポリジウム症	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	ジアルジア症	侵襲性インフルエンザ菌感染症
累積報告数	186	1814	39	445	23	136	1644	829	34	508
分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	侵襲性髄膜炎菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	水痘（入院例）	梅毒	播種性クリプトコックス症	破傷風	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	百日咳	風しん	麻しん
累積報告数	51	1947	394	12014	163	70	102	2485	5	37
分類	五類									
疾病名	薬剤耐性アシネトバクター感染症									
累積報告数	5									

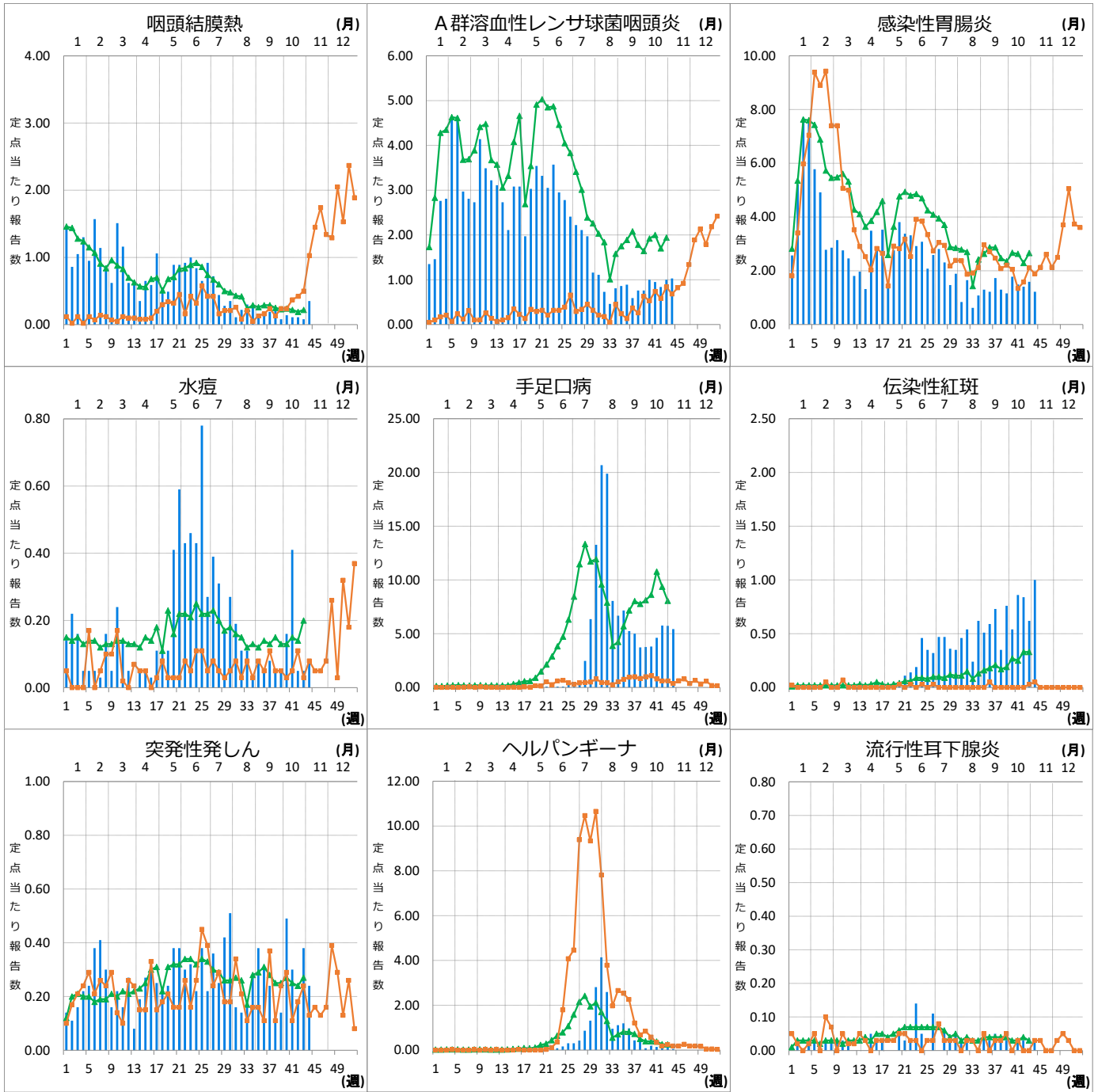
青森県（2024年第1週～第44週までの累計）

分類	二類	三類	四類	四類	四類	四類	五類	五類	五類	五類
疾病名	結核	腸管出血性大腸菌感染症	E型肝炎	つつが虫病	日本紅斑熱	レジオネラ症	アメーバ赤痢	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	急性脳炎	クリプトスポリジウム症
累積報告数	107	24	2	10	1	15	1	27	3	1
分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	侵襲性インフルエンザ菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	水痘（入院例）	梅毒	破傷風	百日咳	
累積報告数	6	14	2	3	28	4	20	2	34	

Ⅷ インフルエンザ・小児科定点把握対象疾患週別推移（2024年第44週、ただし全国は前週）

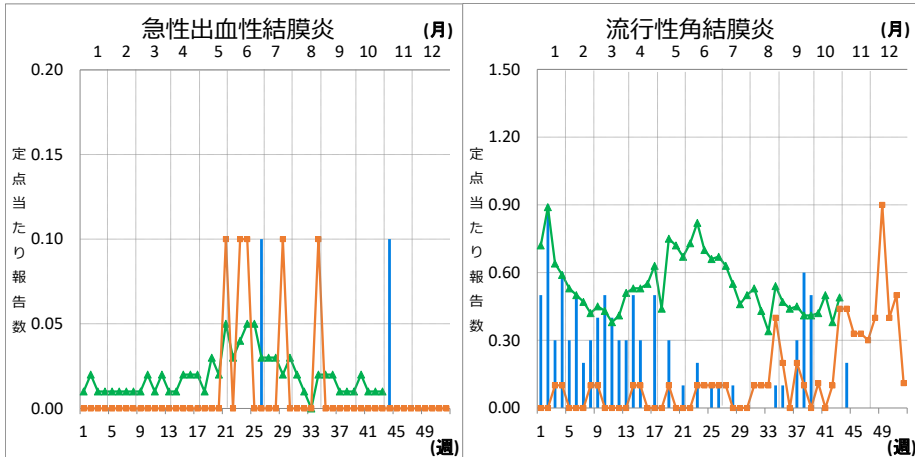
グラフの説明 ← は2024年青森県、■は2023年青森県、▲は2024年全国





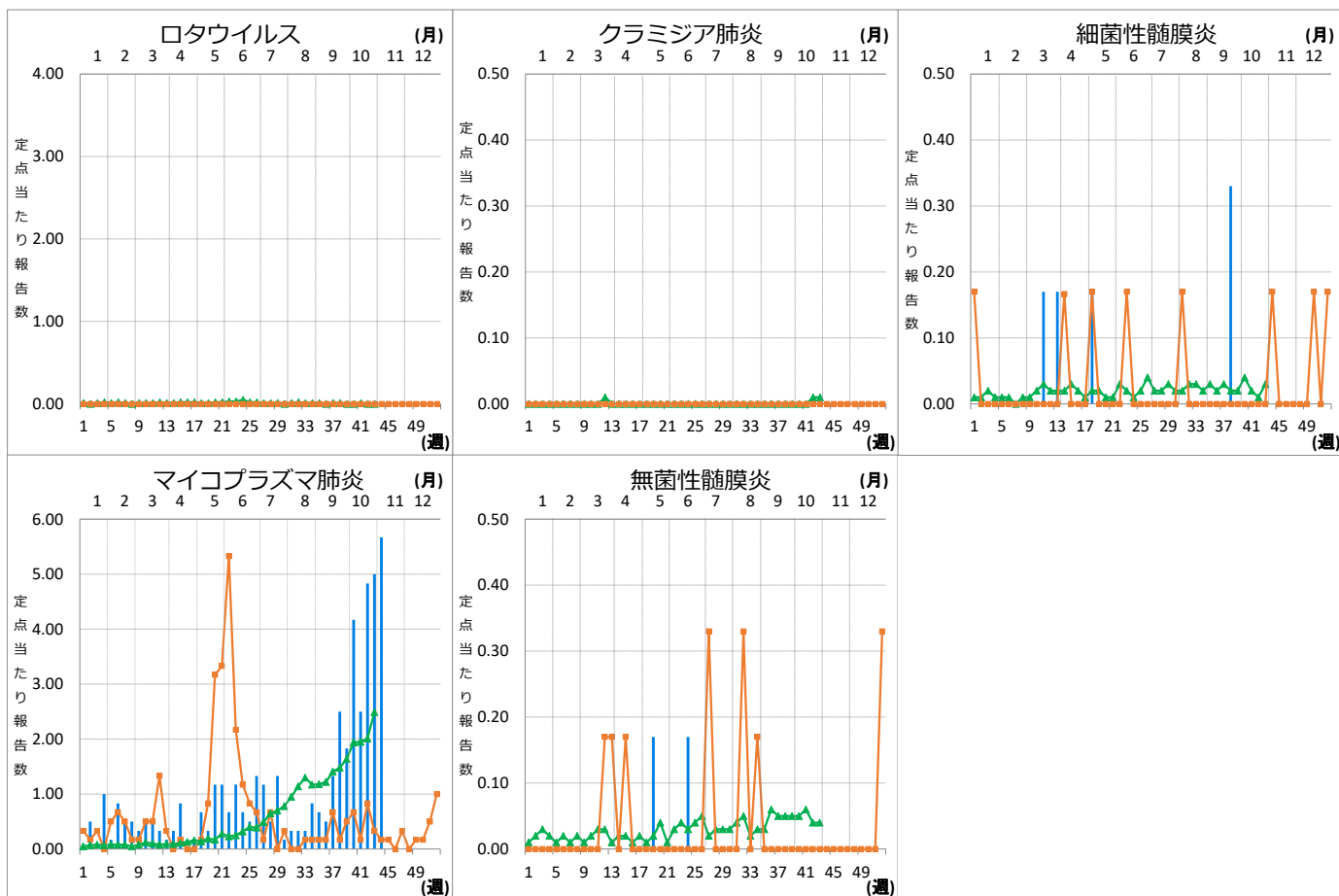
**Ⅹ 眼科定点把握対象疾患週別推移 (2024年第44週、ただし全国は前週)**

**グラフの説明** **■**は2024年青森県、**■**は2023年青森県、**▲**は2024年全国



## X 基幹定点把握対象疾患週別推移（2024年第44週、ただし全国は前週）

グラフの説明 は2024年青森県、 は2023年青森県、 は2024年全国



## XI 社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑い含む）の発生状況

「社会福祉施設等における感染症等発生時に係る報告について」（平成18年2月22日付け厚生労働省健康局長、医薬食品局長、雇用均等・児童家庭局長、社会・援護局長通知）に基づく、青森県内の社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑いを含む）の報告件数及び発症者数は次のとおりです。

2024年第44週

報告はありませんでした。

2024年報告件数及び発症者数

施設種別	月(週)	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月			12月	計 (施設別)
		1-5週	6-9週	10-13週	14-17週	18-21週	22-26週	27-30週	31-34週	35-39週	40-43週	44週	45週	46週	47週	
介護・老人福祉関係施設	件数	4	7	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	12
	発症者数	78	101	16	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	195
児童・婦人関係施設等	件数	9	0	1	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	12	
	発症者数	178	0	17	15	0	0	0	0	10	0	0	0	0	220	
障がい関係施設	件数	3	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	5	
	発症者数	55	0	12	0	0	12	0	0	0	0	0	0	0	79	
その他施設	件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	発症者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
計(月別)	件数	16	7	3	1	0	1	0	0	1	0	0	0	0	29	
	発症者数	311	101	45	15	0	12	0	0	10	0	0	0	0	494	